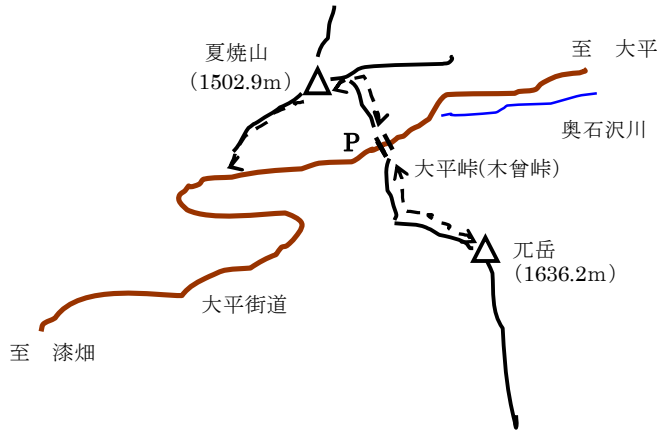


5月度 <sup>(例会)</sup> 個人 山行報告書		報告者	渡辺勝利	参加 メンバー	CL; 竹内幹雄 SL; 塚本英吾 M; 浜島、佐溝、渡辺幸 小久保久里、渡辺勝、育子
		報告日	06/01		
山 域	中ア南部	山行日	09年 05月 30日 (土)		
山 名	兀岳、夏焼山				
山行目的	09年やまびこ祭		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 兀岳

5/30 曇のち雨

7:30 屏風山 PA 集合  
~8:00 開会式後出発 (園原 IC 経由)  
↓  
9:25 大平峠 P  
~40  
↓  
10:10 分岐  
↓  
10:45 兀岳頂上  
~11:15  
↓  
12:00 大平峠  
~10  
↓  
12:40 夏焼山頂上  
~50  
↓  
右へ

↓  
13:30 パノラマコース  
登山口  
↓  
14:00 あららぎ温泉  
~15:00  
↓  
(馬籠、中津川経由)  
16:30 あかまんま着

〈山行報告〉 「ハゲ岳」と呼ぶには失礼な程、笹と樹木に被われた緑濃き兀岳と散策コースの夏焼山の組み合わせは、その後控える大コンパの序章に相応しく、我々 8 名を優しく歓迎し、多に楽しませてくれた。

屏風山 PA で開会式の後、落ち合う先を大平峠に決めて 3 台に分乗して出発。園原 IC で下りて R256 の清内路トンネルを抜け、漆畑で大平 (おおだいら) 街道の九十九折れをひた走り、大平峠に車を停める。ここはトイレも水場もあり、4~5 台の駐車スペースもあるすっきりした休憩エリアである。心配していた天候もどうやら持ち堪えられそうであり、すばやく登山準備をして出発。指導標に導かれて兀岳のルートに入る。旧街道を右に見て、水のにじみ出る滑りやすい道をしばらく登ると今度は両側からの笹の大歓迎を受ける。踏み跡はしっかりしており、迷うことはないが両手で掻き分けながら進むのは辛い。30 分程我慢の登高を続けると漸く切り開かれた分岐に出る。ここで一息入れ、左に直角に折れ曲がる稜線に入ると笹が道幅より広く駆け込まれ歩き易くなって来る。ブナ、こなら、カエデや岳樺、トウヒ、唐松と様々な樹木の間を縫ってコルから一気に駆け上がるとそこがちょっと刈り込まれた頂上であった。全員快調なペースでの登頂に硬い握手を交わす。眺望を満喫したあとは一気に大平峠まで下り、反対側の夏焼山を目指す。このルートは階段で始まるが、兀岳ルートと違い、すっきりと整備されており実に歩き易く、老人子供でも簡単に県民の森へ誘ってくれそうである。この付近は広葉樹が多くさぞかし秋の紅葉は素晴らしいであろう。そうこうしている内に頂上に着く。南木曾岳の向こうに北アの山々が、

南には今登ってきた兀岳の眺望が素敵なところであるが、急に暗くなった空からぱらぱらとにわか雨が降り出したところで、パノラマコース組と大平峠の車回収組に分かれ早々に下山。雨もたいした降りとはならず、パノラマ登山口で 5 人と合流し、夜の部の大コンパに余力を残して無事に登山活動を終了した。その後、近くの蘭 (あららぎ) 温泉の掛け流し松風呂 (入浴料 550 円/人) で汗を流し、馬籠経由であかまんまに着く頃には本降りの雨になっていた。

〈リーダー所見〉 天気は曇りで、雨具を使うこともなく快適な山行日和となりました。メンバーは現役 2 名 OB6 名の構成で全員初めて登る山なので、どんな山なのか楽しみもありました。兀岳の登山口から分岐までは笹藪の中を両手で掻き分けながら進みましたが、これを過ぎてからは頂上まで小鳥の囀りを聞きながら快適に歩くことができました。また夏焼山は整備された登山道を 30 分ほどで登れる眺望の良い山でした。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



夏焼山から兀岳を望む

確認  
(リーダー)

竹

09/06/03

内

作成  
(報告者)

渡

09/06/01

辺